

2022年度第1四半期決算の概要及び 2022年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2022年8月5日


























本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2022年度第1四半期決算の概要	
1) 主要関連指標動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2022年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-15
2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想（増減分析 対前年決算 上期）	…16
3) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向変化	…17-20
4) セグメント別 コア営業利益の予想（1Q→2Q増減）	…21
3. 補助資料	…22-28

1. 2022年度第1四半期決算の概要

1) 主要関連指標動向

関連指標	22年度			
	1Q	21.4Q→ 22.1Q	2Q	22.1Q→ 22.2Q
自動車生産台数(世界)				
<ul style="list-style-type: none"> 日本 北米 中国 ASEAN 欧州 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国ロックダウン、グローバルな部材不足の影響により減産 	<ul style="list-style-type: none">      	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州を除き各地域とも1Qからは回復を見込む 	<ul style="list-style-type: none">      
半導体市場	需要堅調		需要減（在庫調整）	
市況				
フェノール	<ul style="list-style-type: none"> ・フェノール、ビスフェノールAの海外市況は、中国ロックダウンの影響により需給環境が軟化し下落 			
ビスフェノールA			<ul style="list-style-type: none"> ・ビスフェノールAの海外市況は、引続き需給環境が軟化し下落 	
アセトン	<ul style="list-style-type: none"> ・アセトンの市況は低水準 			
TDI			<ul style="list-style-type: none"> ・TDIの市況は下落 	
MDI	<ul style="list-style-type: none"> ・MDIの市況は需給環境の軟化により下落 		<ul style="list-style-type: none"> ・MDIの市況は下落 	
クラッカー稼働率	高稼働		高稼働	

2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23以降
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-			
	農薬事業買収	22年1月	-			
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-			
モビリティソリューション	ガラス長繊維強化PP新設@China	21年4月	3.5KT			
	タフマー能力増強@Singapore	21年4月	25KT			
	ルーカント新拠点@Japan	21年4月	20KT			
ICTソリューション	EUVペリクル新設備@Japan	21年4月	-			
	アペル [®] 新プラント@Japan	22年6月	+50%			
	ペリクル事業買収	23年7月	-			
	イクロステーブ [®] 能力増強@Taiwan	23年10月	380万m ²			
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	本州化学工業 連結子会社化	21年10月以降	-			
	ポリウレタン事業 合併解消	21年12月	-			
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年1月	200KT			
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT			
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-			
最適化・再構築	高純度テフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT			生産停止

22年度1Q 商業運転開始プラント等

22年度1Q 意思決定案件等

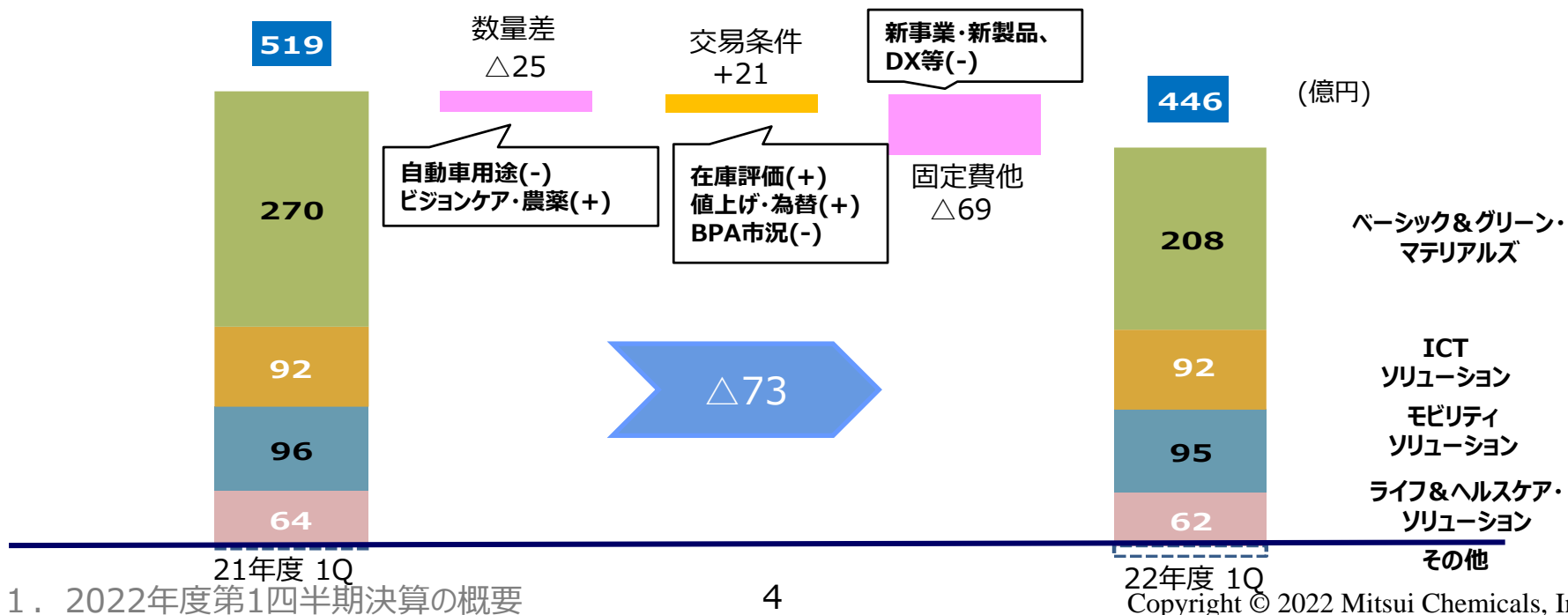
3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘要	21年度 4-6月決算	22年度 4-6月決算	増減	増減率
売上収益	3,706	4,761	1,055	28%
コア営業利益	519	446	△ 73	△14%
(うち、持分法による投資損益)	78	90	12	15%
非経常項目	13	△ 17	△ 30	-
営業利益	532	429	△ 103	△19%
金融収益・費用	△ 13	△ 21	△ 8	-
税引前四半期利益	519	408	△ 111	△21%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	426	280	△ 146	△34%
為替レート(円/US\$)	110	130	+ 20	
国産ナフサ(円/KL)	47,700	86,100	+ 38,400	

3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

- ①中国ロックダウン、グローバルな部材不足の影響を受け自動車用途関連を中心に販売数量は減少。
- ②ビジョンケア、農薬は引続き販売堅調。
- ③原料価格上昇に伴う在庫評価益。
- ④原料価格上昇に伴う価格改定及び円安影響により交易条件改善。
- ⑤ビスフェノールAの海外市況は、需給環境が軟化し下落。







4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (対前年決算)

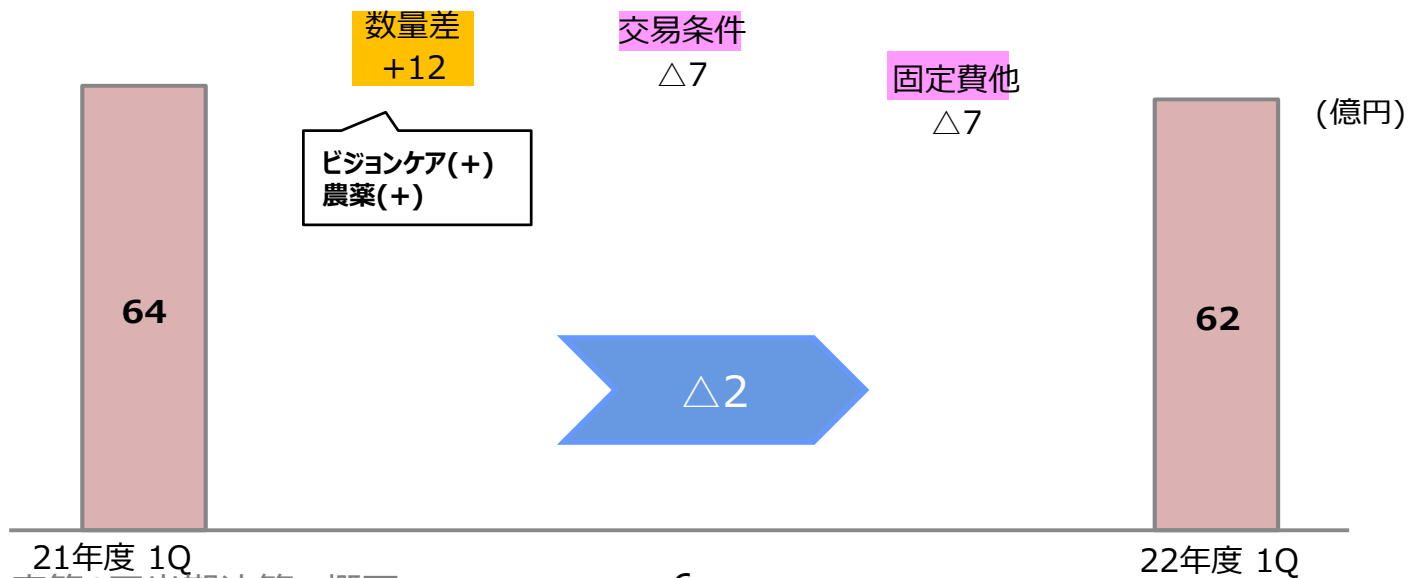
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	21年度 4-6月決算	22年度 4-6月決算	増減	21年度 4-6月決算	22年度 4-6月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	523	587	64	64	62	△ 2	12	△ 7	△ 7
モビリティソリューション	1,009	1,206	197	96	95	△ 1	△ 20	37	△ 18
ICTソリューション	506	592	86	92	92	△ 0	△ 6	21	△ 15
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,633	2,343	710	270	208	△ 62	△ 11	△ 30	△ 21
その他	35	33	△ 2	△ 3	△ 11	△ 8	-	-	△ 8
合計	3,706	4,761	1,055	519	446	△ 73	△ 25	21	△ 69
成長領域*	2,038	2,385	347	252	249	△ 3			

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

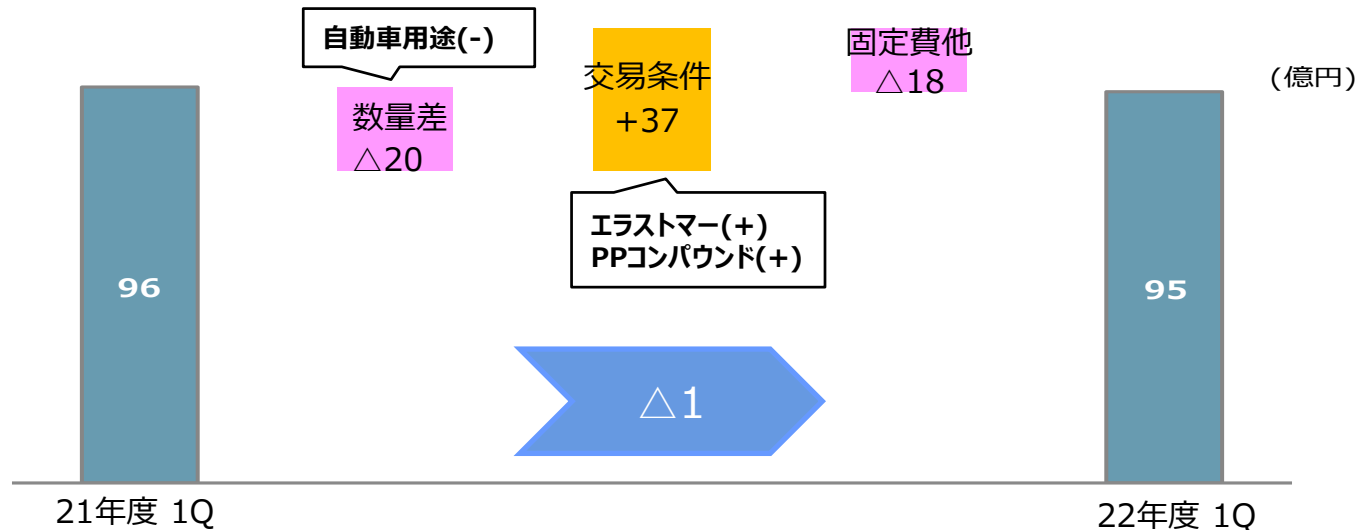
5-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向

	22年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・原料価格上昇に伴う交易悪化 	数量(+) 交易条件(-)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> ・原料価格上昇に伴う交易悪化 	交易条件(-)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は前年並みに推移 ・固定費増 	固定費(-)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・販売増加に伴う固定費増 	数量(+) 固定費(-)

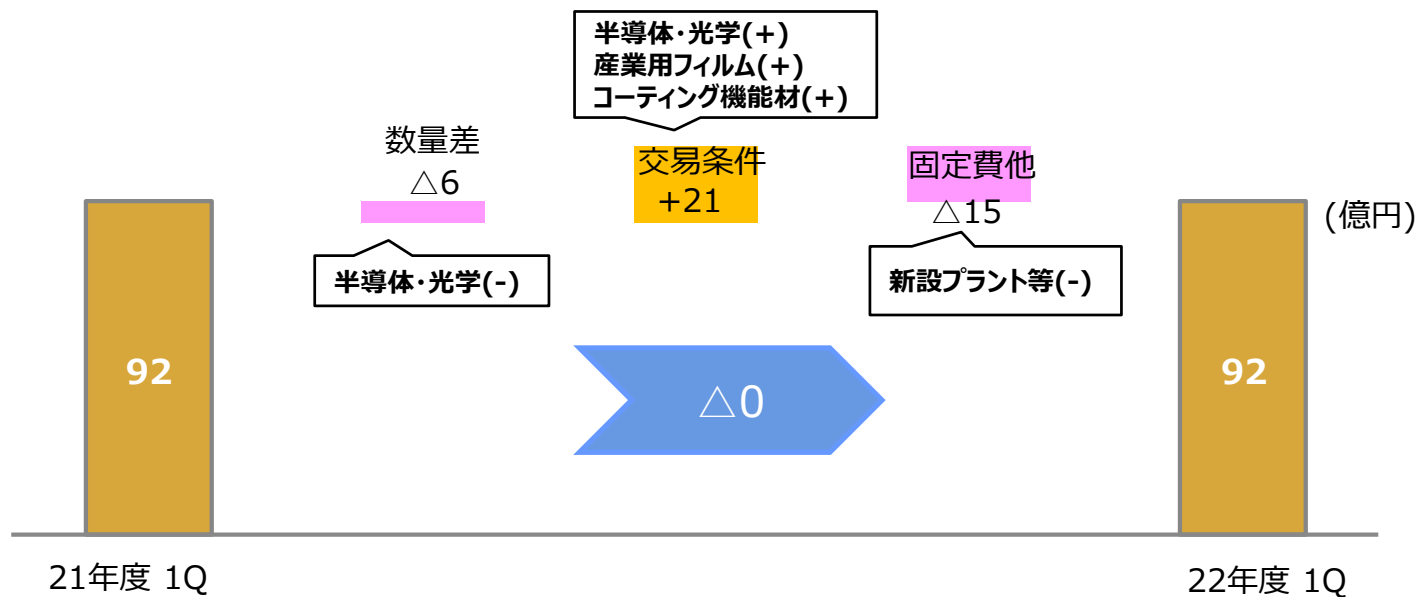


5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向




	22年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数減少の影響を受け販売は減少 価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善 持分法投資損益の改善 	数量(-) 交易条件(+) 持分法(+) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数減少の影響を受け販売は減少 価格改定及び為替差による交易改善 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 受注減継続により前年並み 	-

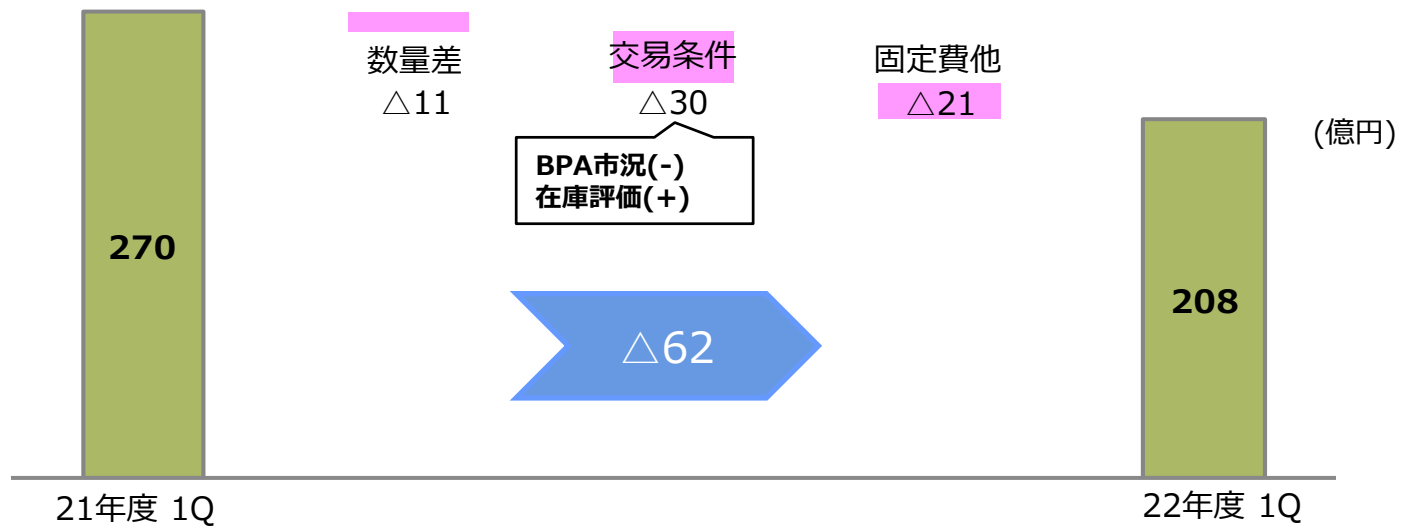


	22年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 中国ロックダウンの影響を受け販売は減少 為替差により交易条件改善 新設プラント稼働による固定費増(アペル®) 	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年並みに推移 為替差により交易条件改善 	交易条件(+)



5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向変化

	22年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
石化	 <ul style="list-style-type: none"> 原料価格上昇に伴う在庫評価益(含むフォーミュラ期ずれ) 	在庫(+) 固定費(-)
基礎化	 <ul style="list-style-type: none"> ビスフェノールAを中心に海外市況は、需給環境が軟化し下落 	数量(-) 交易条件(-) 固定費(-) 持分法(-)
ウレタン	 <ul style="list-style-type: none"> 持分法投資損益改善 	持分法(+)



6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-6月決算	22年度 4-6月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 1	△ 2	△ 1
その他の	14	△ 15	△ 29
非経常項目 合計	13	△ 17	△ 30

7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	22年3月末	22年6月末	増減	摘 要	22年3月末	22年6月末	増減
流動資産	(10,335)	(11,333)	(998)	負債	(11,279)	(12,067)	(788)
現金及び 現金同等物	1,812	1,909	97	営業債務	1,748	2,053	305
営業債権	3,704	3,893	189	有利子負債	7,151	7,838	687
棚卸資産	3,690	4,334	644	その他	2,380	2,176	△ 204
その他	1,129	1,197	68	資本	(8,071)	(8,454)	(383)
非流動資産	(9,015)	(9,188)	(173)	親会社の所有者に 帰属する持分	7,127	7,496	369
有形固定資産及び 使用権資産	5,536	5,612	76	非支配持分	944	958	14
のれん及び 無形資産	633	640	7				
非流動の その他の資産	2,846	2,936	90				
合 計	19,350	20,521	1,171	合 計	19,350	20,521	1,171

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	21年度 4-6月決算	22年度 4-6月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	287	△ 106	△ 393
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 231	△ 333	△ 102
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	56	△ 439	△ 495
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	137	444	307
IV. その他	4	92	88
現預金等増減	197	97	△ 100

2. 2022年度業績予想の概要

22年度よりセグメントを変更しております。
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度業績予想との比較を目的に作成した概算値(除く21年度1Q)です。

1 - 1) 業績予想の概要

業績予想については足元の諸元（為替レート、国産ナフサ）を反映し、売上収益及びコア営業利益の一部見直しを実施。

（単位：億円）

セグメント	売上収益			コア営業利益			主要増減要因
	22年度 前回予想 (22.5.13発表)	22年度予想	増減	22年度 前回予想 (22.5.13発表)	22年度予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	2,460	2,460	-	270	270	-	
モビリティソリューション	5,380	5,380	-	415	415	-	
ICソリューション	2,440	2,440	-	365	365	-	
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	8,790	11,190	2,400	360	460	100	原料価格上昇に伴う在庫評価益
その他	130	130	-	△ 10	△ 110	△ 100	世界経済減速に伴うリスク等
合計	19,200	21,600	2,400	1,400	1,400	0	

為替レート(円/US\$) 120 130 + 10

国産ナフサ(円/KL) 75,000 86,000 + 11,000

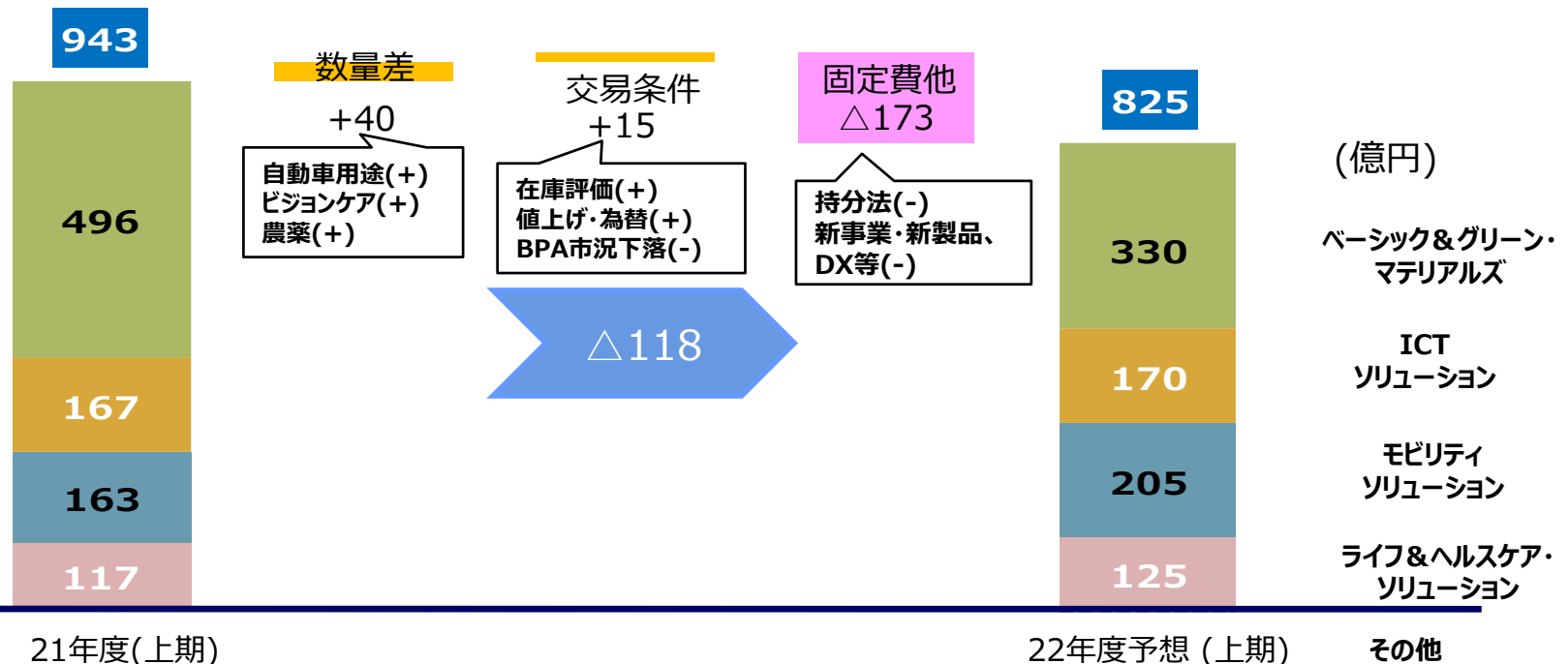
1 - 2) 業績予想の概要 (対前年決算 上期)

(単位：億円)

摘 要	21年度決算 4-9月(a)	22年度予想 4-9月(b)	増減 (b)-(a)		22年度予想
売上収益	7,435	10,200	2,765	37%	21,600
コア営業利益	943	825	△ 118	△13%	1,400
非経常項目	2	△ 20	△ 22	—	△ 20
営業利益	945	805	△ 140	△15%	1,380
金融収益・費用	△ 21	△ 30	△ 9	—	△ 50
税引前利益	924	775	△ 149	△16%	1,330
親会社の所有者に 帰属する当期利益	739	570	△ 169	△23%	1,000
為替レート(円/US\$)	110	130	+ 20		130
国産ナフサ(円/KL)	50,600	86,000	+ 35,400		86,000
中間配当	55 円/株	60 円/株	+5円/株		年間配当 120 円/株

1 - 3) 業績予想の概要 (コア営業利益)

- ①自動車用途関連は生産台数の回復を見込む。
- ②ビジョンケア、農薬は引続き販売堅調を見込む。
- ③ビスフェノールAの海外市況下落。
- ④原料価格上昇に伴う在庫評価益に加え、価格改定及び円安により交易条件改善。
- ⑤資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。







2) セグメント別 売上収益/コア営業利益の予想 (増減分析 対前年決算 上期)

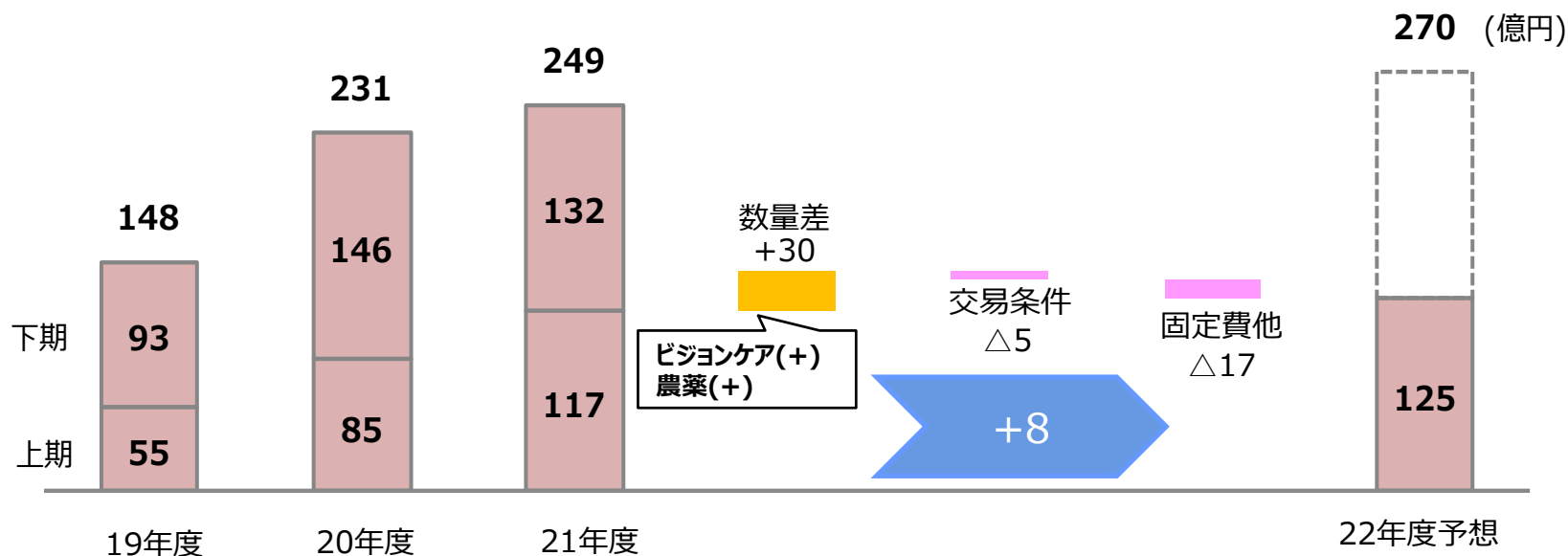
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	21年度決算 4-9月	22年度予想 4-9月	増減	21年度決算 4-9月	22年度予想 4-9月	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	1,028	1,230	202	117	125	8	30	△ 5	△ 17
モビリティソリューション	1,994	2,550	556	163	205	42	25	70	△ 53
ICTソリューション	1,017	1,200	183	167	170	3	△ 5	30	△ 22
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	3,345	5,150	1,805	496	330	△ 166	△ 10	△ 80	△ 76
その他	51	70	19	0	△ 5	△ 5	-	-	△ 5
合計	7,435	10,200	2,765	943	825	△ 118	40	15	△ 173
成長領域*	4,039	4,980	941	447	500	53			

*ライフ & ヘルスケア、モビリティ、ICT

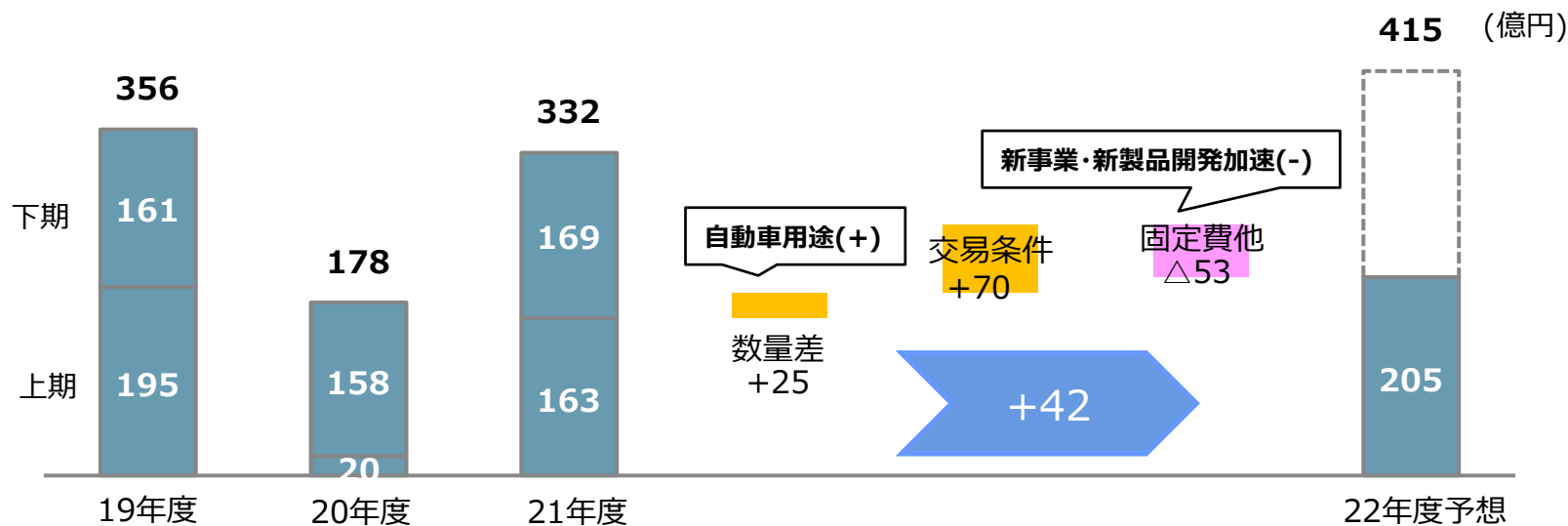
3-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算 上期)

	22年度上期予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・原料価格上昇に伴う交易悪化 	数量(+) 交易条件(-)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> ・原料価格上昇に伴う交易悪化 	交易条件(-)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は前年並みに推移 ・固定費増 	固定費(-)
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・販売増加に伴う固定費増 	数量(+) 固定費(-)



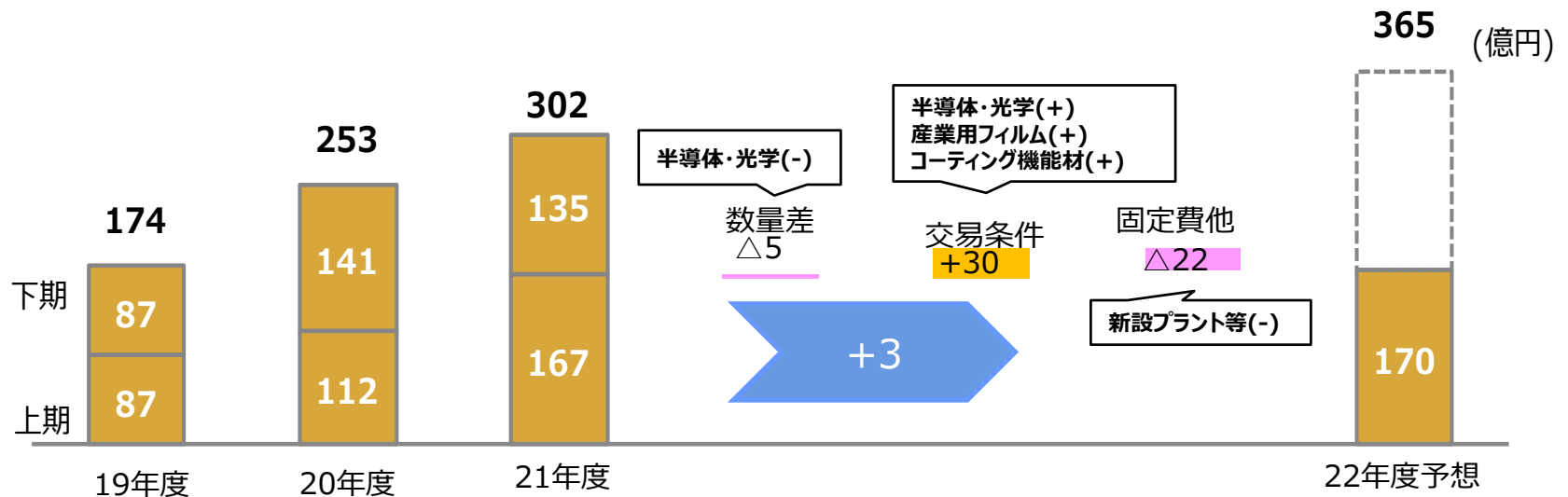
3-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算 上期)

	22年度上期予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復、太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売増 価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復に伴う販売増 価格改定及び為替差による交易改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(-)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 販売は前年から回復を見込む 	数量(+) 固定費(-)



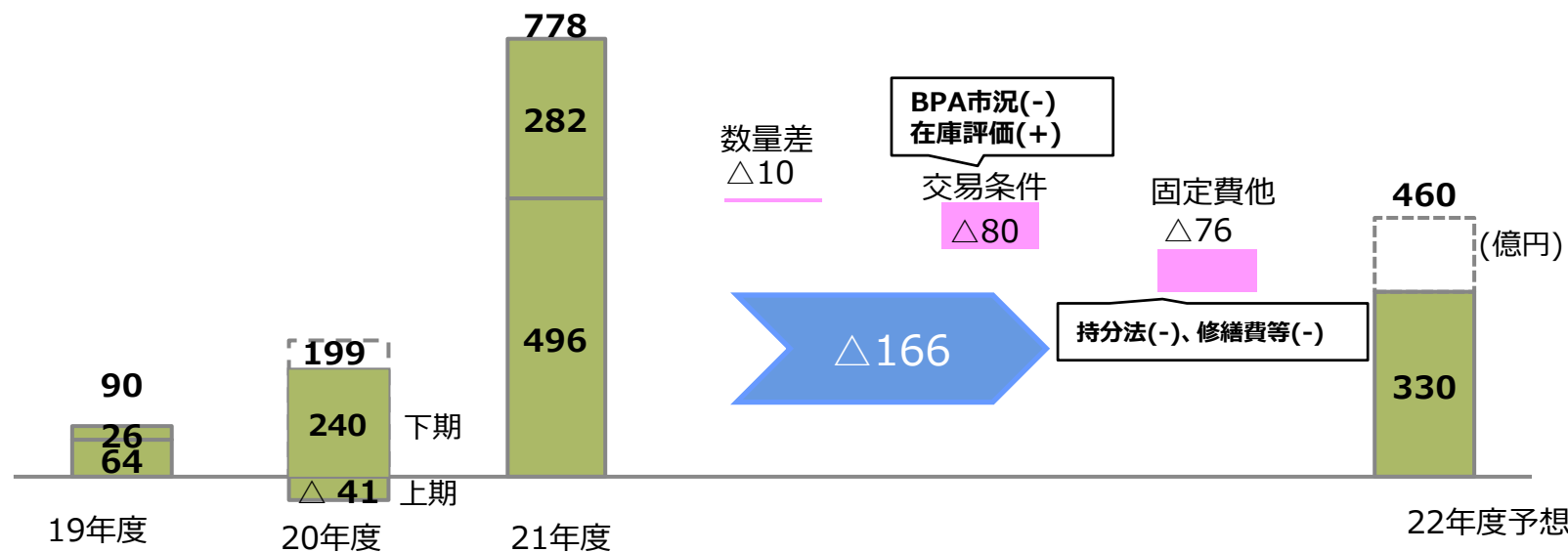
3-3) ICTソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算 上期)

	22年度上期予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	→ 中国ロックダウンの影響により販売減少 ・為替差により交易条件改善 ・新設プラント稼働による固定費増(アペル®)	数量(-) 交易条件(+) 固定費(-)
産業用フィルム	→ 販売は前年並みに推移 ・為替差により交易条件改善	交易条件(+) 固定費(-)



3-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算 上期)

	22年度上期予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> 原料価格上昇に伴う在庫評価益 (含むフォーミュラ期ずれ) 	在庫(+) 固定費(-)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ビスフェノールAの海外市況は、需給軟化により下落 持分法投資損益の悪化 	取引条件(-) 持分法(-) 固定費(-)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 前年並みに推移 	-



4) セグメント別 コア営業利益の予想 (1Q→2Q増減)

(単位：億円)

セグメント	22年度 コア営業利益			主要増減要因
	1Q	2Q予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	62	63	1	農薬数量(+)、固定費(-)
モビリティソリューション	95	110	15	自動車用途数量(+)、固定費(-)
ICTソリューション	92	78	△ 14	固定費(-)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	208	122	△ 86	数量(+)、交易(-)、在庫(-)、固定費(-)
その他	△ 11	6	17	
合計	446	379	△ 67	
成長領域*	249	251	2	

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) 売上収益の増減概要
- 3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) セグメント情報
- 5) データハイライト

1) 製品価格の状況

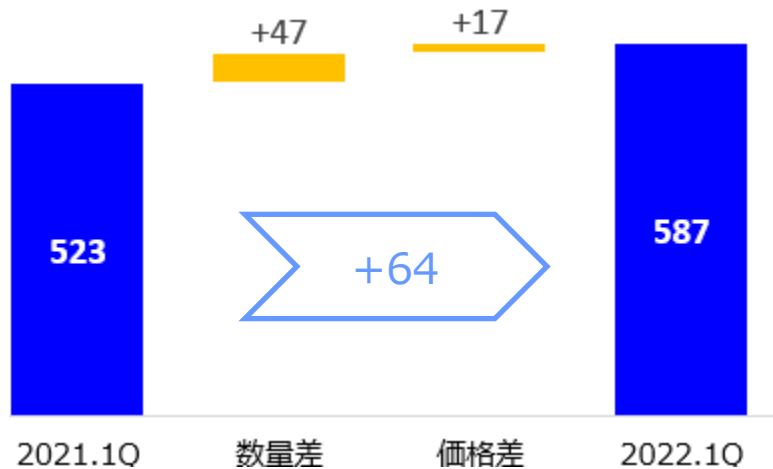
年		2019年		2020年				2021年				2022年	
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
国産標準 ナリ価格	(円/KL)	40,200	41,300	44,800	24,900	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100
PE国内	(円/KG)	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度
PP国内	(円/KG)	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度
PH国内 (フォーマリ価格)	(円/KG)	→	+10円	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$660	\$680	\$700	\$360	\$440	\$490	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230
BPA国内	(円/KG)	→	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,190	\$1,210	\$1,310	\$1,210	\$1,290	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060
PTA 中国市況	(\$/T)	\$700	\$620	\$560	\$420	\$440	\$450	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830	\$950
PX (*ACP)	(\$/T)	\$810	\$800	\$710	\$500	\$550	\$560	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260
TDI 中国市況	(\$/T)	\$1,610	\$1,500	\$1,430	\$1,330	\$1,580	\$2,330	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770

* ACP アジア圏契約価格

2-1) 売上収益の増減概要

ライフ&ヘルスケア

(単位: 億円)



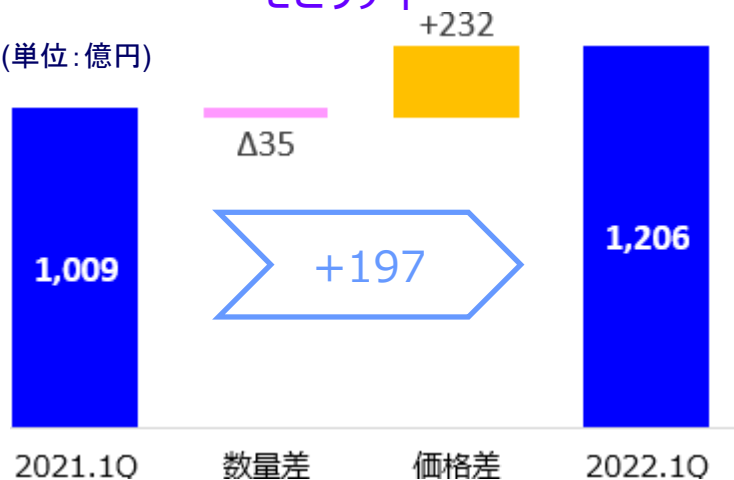
◆数量差 +47億円

・ビジョンケア材料、農薬は販売堅調。

◆価格差 +17億円

モビリティ

(単位: 億円)



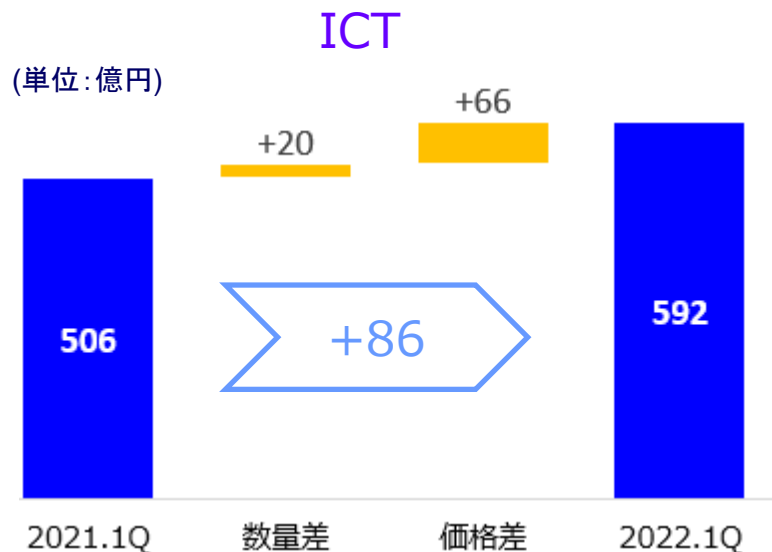
◆数量差 △35億円

・エラストマー、複合材料の販売はグローバル自動車生産減少の影響を受け減少。

◆価格差 +232億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差等。

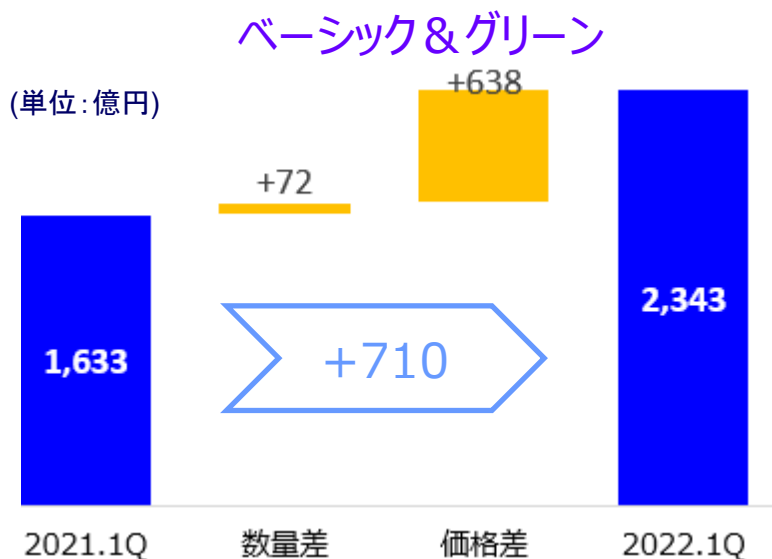
2-2) 売上収益の増減概要



◆数量差 +20億円

◆価格差 +66億円

・原料価格上昇による価格改定、為替差等。



◆数量差 +72億円

◆価格差 +638億円

・原料価格上昇による価格改定。

3) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)



(単位：億円)

セグメント	売上収益				
	21年度				22年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	523	505	561	663	587
モビリティソリューション	1,009	985	1,120	1,213	1,206
ICTソリューション	506	511	536	518	592
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	1,633	1,712	1,971	2,055	2,343
その他	35	16	28	27	33
合計	3,706	3,729	4,216	4,476	4,761

セグメント	コア営業利益				
	21年度*				22年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	64	53	66	66	62
モビリティソリューション	96	67	77	92	95
ICTソリューション	92	75	85	50	92
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	270	226	179	103	208
その他	△ 3	3	△ 7	△ 36	△ 11
合計	519	424	400	275	446

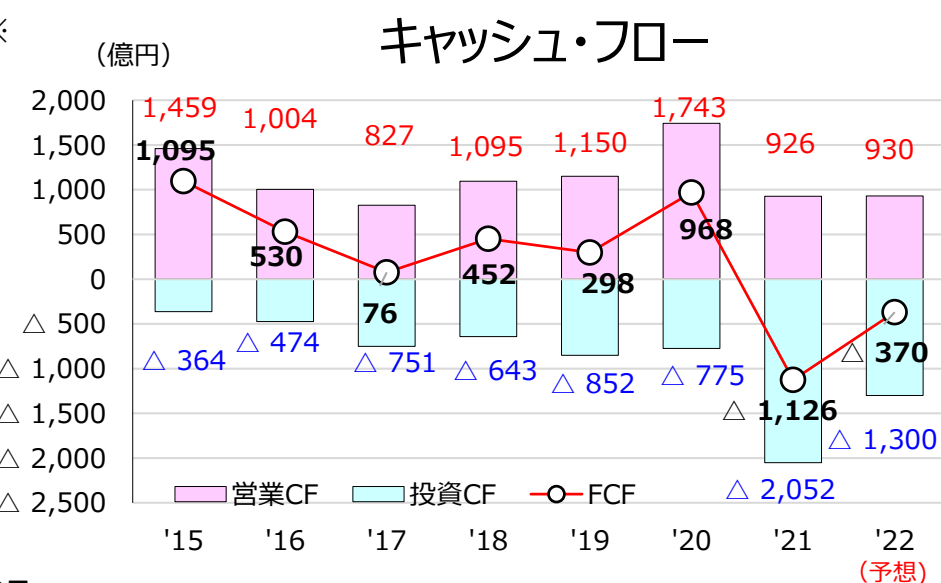
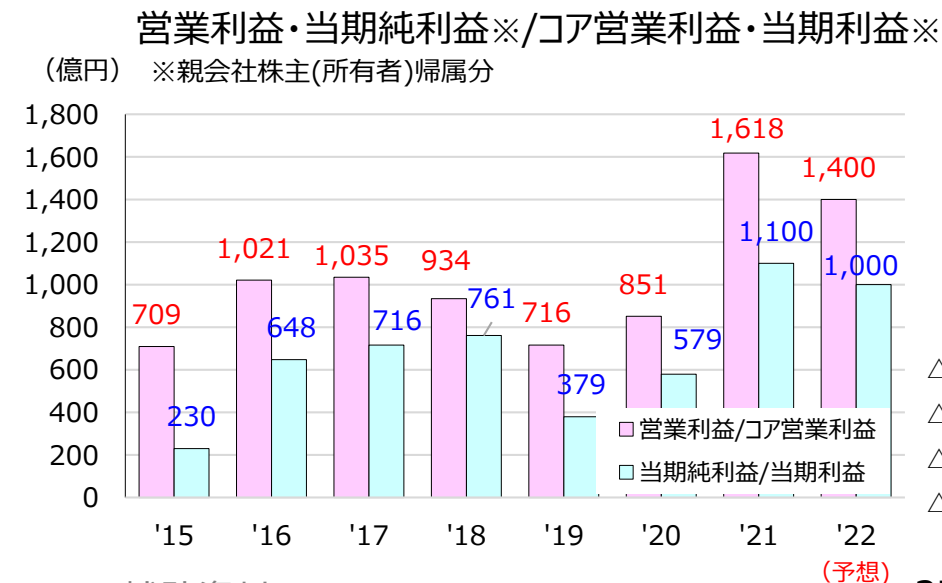
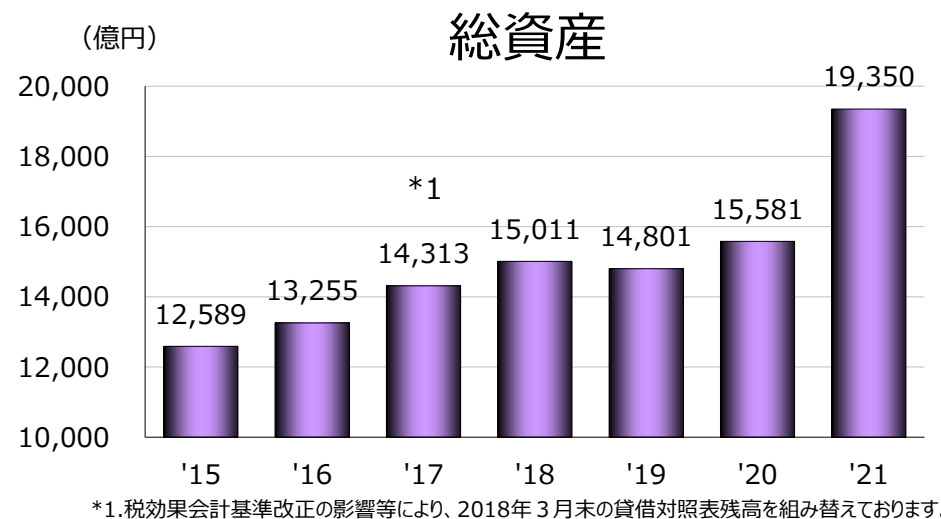
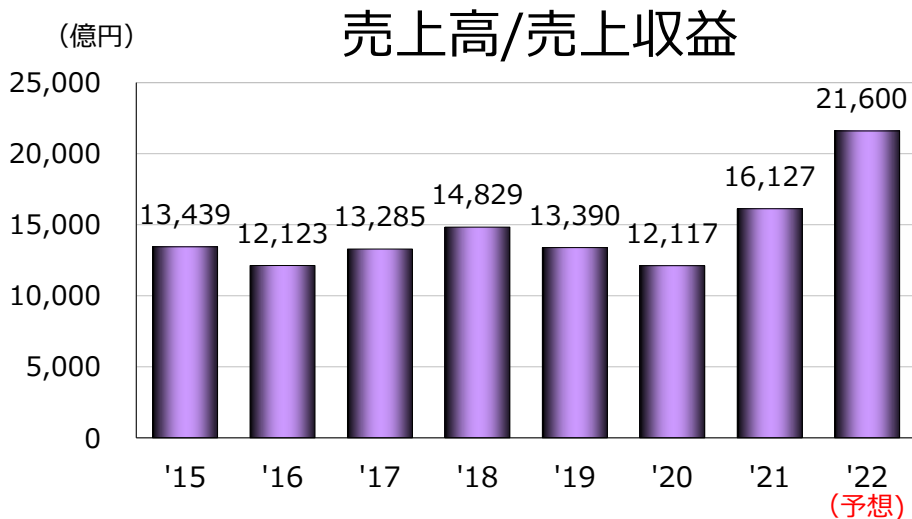
*21年度コア営業利益のセグメント組替につきましては5月13日の公表時からセグメントの修正を行っております。

4) セグメント情報

セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 メディカル材料（タウリン）、 不織布（シンテックス®、エアリア®、テクノロート®）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（ArF、KrF、EUV）、アペル®、TPX®、半導体用ガス 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ®、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業推進室	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

5-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

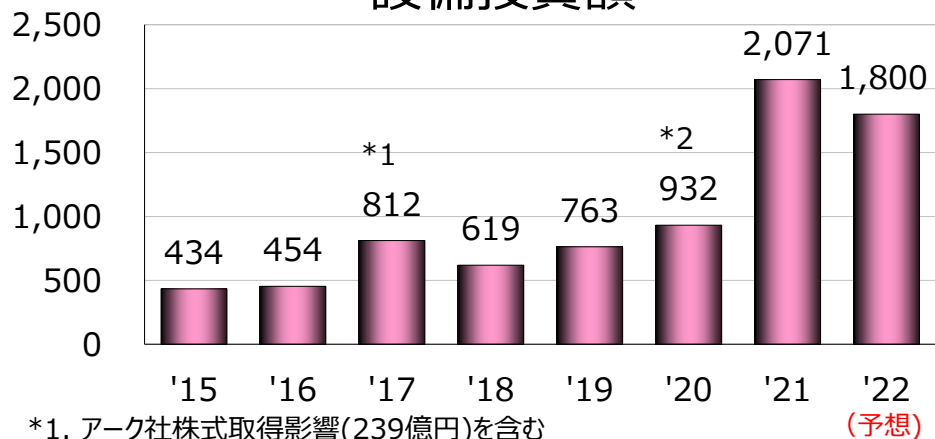


5-2) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

(億円)

設備投資額

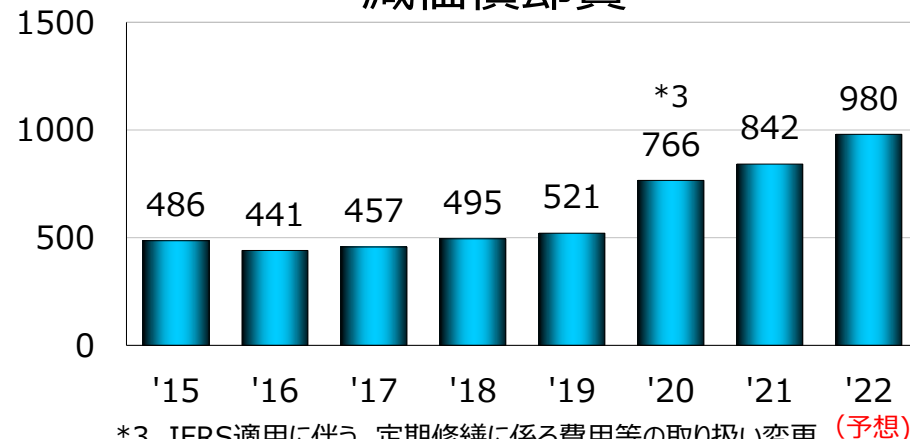


*1. アーク株式会社取得影響(239億円)を含む

*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む

(億円)

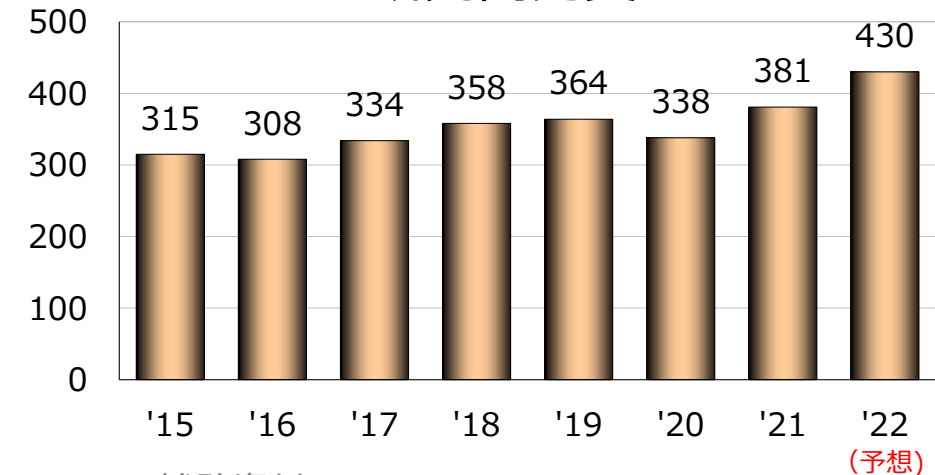
減価償却費



*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む

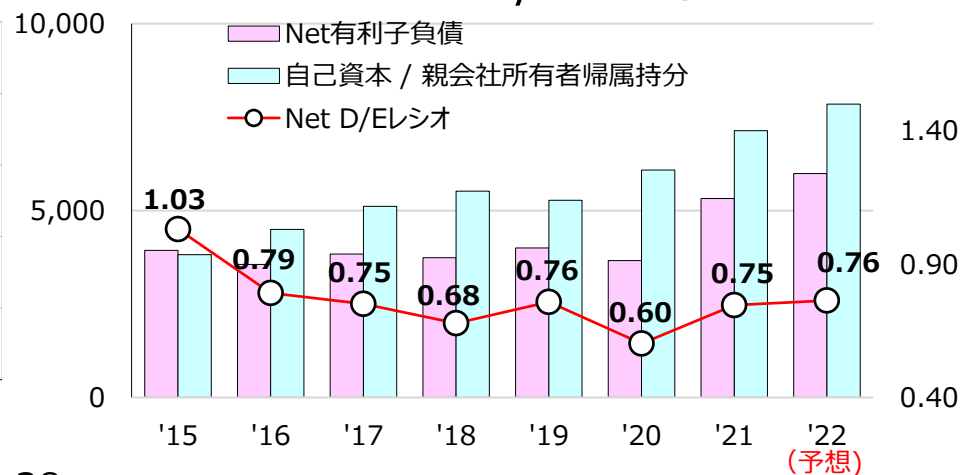
(億円)

研究開発費



(億円)

Net D/Eレシオ





Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する